

議 長 休憩を解いて再開いたします。 (14時50分)

引き続き一般質問を行います。受付番号第6号、田代実君の一般質問を許します。登壇願います。

8 番 田 代 議長のご許可を頂きましたので、一般質問をさせていただきます。件名、高齢者のための「A I オンデマンドバス運行」と「タクシー助成券」の予算について。質問議員、第5番 田代実。

新たな公共交通網を構築するため、人工知能による予約制相乗りバス、A I オンデマンドバスが令和5年10月23日から実証実験を開始しました。しかし、高齢者には利用しにくいようです。次のことについて町長にお伺いします。

(1) 現在、A I オンデマンドバスは実証実験を試行中であり、予約時間に来ないので夏・冬は待ち時間がつらい。遅延により病院の予約時間に遅れた。帰路は遠回りになって不安などの声があります。今後の運行や料金の見直しに関する対策と方針について。

(2) 令和6年度に廃止された高齢者等福祉タクシー助成券、正式な予算名称は「高齢者等移動手段確保助成事業」です。高齢者にはこの福祉タクシー助成券のほうが使い勝手がよいと思いますので、来年度の予算に復活するお考えについて回答をお願いいたします。以上です。

町 長 それでは、田代議員の御質問に順次お答えをさせていただきます。

初めにA I オンデマンドバス「のるーと足柄」の実証運行につきましては、高齢化率が上昇傾向の中、今後高齢者の免許返納や若い世代のマイカー運転機会の減少などにより、様々な年代の移動需要に対応した公共交通サービスを進めていくため、町地域公共交通会議での協議において、新モビリティサービスの必要性などのニーズ調査を行い、その調査結果において新たなモビリティサービスの導入希望への意見が多かったため、町地域公共交通計画案において、基本方針や目標の中に位置づけ、ほかの自治体に先駆け、令和5年10月23日からA I オンデマンドバスの実証運行を開始しております。

この事業は、A I 活用型運行システムを採用した路線バスとタクシーの中間に位置する新たな乗合バスの交通施策となり、令和7年度までの3年間を実験

運行期間と位置づけ、今までサービスの行き届かなかった地域や時間帯をカバーし、町内等に配置、設置している乗車場所も多く、利用者の自宅の近くにて乗り降りができるようにしております。

利用料金につきましては、令和8年度から事業の健全化を目指し、自走するために、これまで運行してきた実績をもとに、本年5月に行われた地域公共交通会議において料金改定が認められ、11月から新たな料金にてスタートすることとなっております。町といたしましても、75歳以上の高齢者にとって大切な公共交通機関として運営を継続することが望ましいため、料金改定はやむなしと考え、利用者増加への支援が必要であるとも考えております。

料金改定の内容を申し上げますと、これまで全域で一律300円の運賃だったところから変更し、運行区域内を松田町と大井町とでエリアで分けて、エリア内の移動の料金につきましては200円増となる500円、またエリアをまたぐ移動の場合につきましては、プラス300円で合計800円となる運賃見直しを予定をしております。

それでは、御質問の1つ目にお答えをさせていただきます。令和6年度は実証運行2年目の年として、運行開始から11か月ほど経過いたしますが、利用ニーズに答えられていない部分の解消に向けて、実情に合った運行の見直しを行うとともに、さらなる利便性の向上に向け、利用者の声に対応した待ち時間対策及び到着予定時間の誤差を含めた最適な運行となるよう、8月より試行的でございますが、新運行システムを導入しているところでございます。また、利用促進対策といたしまして、町民の利用の場合、当面の間、町が75歳以上の高齢者と妊産婦さんを対象に200円の助成、及び法人が一律100円の割引を行う予定でございますので、エリア内での移動については1回200円の負担にて乗車ができるように対応したいと考えております。

今後も実証運行の残り1年半の期間の中で、運行方針については本町に合った運行及び事業運営方法を導き出すために、随時柔軟に対応し、持続可能な事業となるよう、法人と連携して取り組んでまいりますので、引き続き多くの方々に乗って育んでいただくことを併せてお願いを申し上げます。

続きまして、2点目の御質問にお答えいたします。高齢者等移動手段確保助成事業は、令和2年度から国の新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金が令和4年度で終了しましたが、及び一般財源を活用して実施してきましたが、令和5年度の12月をもって本事業を終了したことに伴い、新たなAIデマンドバス事業を推進しているところでございます。

先ほど申しました高齢者等の移動手段確保事業のときはですね、タクシーの初乗り料金を無料とするような事業でございました。

さて、2つ目の御質問でございます高齢者等福祉利用券のことでございますが、高齢者等の移動手段の利便性の向上とAIオンデマンドバスを運営する法人の競争意識による効果を期待し、本年11月の料金改定のタイミングでAIオンデマンドバスの助成事業を御利用いただいている75歳以上の高齢者等に対し、料金改定のタイミングにてチケット1枚の助成額を、現在100円から200円に引き上げる準備を進め、さらには対象として、今まではしてなかったんですけども、新たにタクシー利用についても200円を助成する方向で調整をしております。

令和7年度予算について御提案を頂きましたけれども、コロナ禍同様に反映できるかどうかは、現時点ではちょっと申し上げられるような状況でございませぬが、11月からの利用状況を鑑み、判断をしたいというふうに考えております。よろしく願いいたします。以上です。

8 番 田 代 それでは、詳細について質問させていただきたいと思っております。詳細については担当課長に、総括的な質問については町長に回答をお願いしたいと思います。

まず1点目です。8月より試行的ですが、新運行システムを導入し、利用促進を図っていくという回答だったんですけども、具体的にはこれはどのような内容でしょうか。

参事兼政策推進課長 8月からですね、新システムの導入ということで、トライアル限定事業ということで、システムを改修しております。議員御質問のですね、いろいろな時間、待つ時間とか、あるいは予約をしたんですけども、なかなか来ないとか、そういう要望が多々ございまして、その要望を地域公共交通会議に全部諮って

ございます。そうしたことから、5月に行われた地域交通協議会の中で、8月において新システム、これは予約をしたときに車両にひもづけるんですけども、その車両を限定して今まで運行するような形になっていますので、ほかの2台の車両については、ひもづかないような形になったんですけど、それをです、一番いいルートを選んでひもづけるようなシステムを導入したということで、その時間帯の解消に向けて8月から更新をしているところでございます。そうしたことによって、今現在のいろんな声を聞いておるんですけども、5月とか6月ぐらいにあった要望に対して、改善傾向にあるというような情報は聞いております。以上です。

8 番 田 代 ただいま回答がありました内容、トライアル限定システムの導入ということで、予約車を限定しないで、他の空いている2台で対応するという回答を頂きました。これについては冒頭、私の質問で予約時間に来ないので、夏・冬は待ち時間がつらいとか、遅延により病院の予約時間に遅れたとか、帰路は遠回りになって不安と、そういった声が上がっていたので、それに対応するものだと、そのように理解させていただきます。ありがとうございます。これについてはまた今後の成り行きを見守らせていただきます。

次に、具体的な質問として、去年の10月からスタートして、8月で締めというところとちょっと厳しいかもしれませんが、もし分ければ8月の締めの段階、または無理なようでしたら7月の締めの段階、この10か月から11か月の利用人数、それと、あとは1か月当たりの利用平均人数、これについてお知らせください。お願いします。

あともう1点、6年度にエリアを拡大して、11月の見直しにこれが行われるようなんですけど、このエリアについては、先ほどの回答だと今現在は大井も含めて松田とその2つのエリアを行っていると。これに新しく加わると思うんですけども、どこの場所…どこの町で何か所ぐらい増やすのか、その辺も併せてお願いいたします。

参事兼政策推進課長 まずですね、現在までの利用状況ということで御報告をさせていただきます。これ、現在1日当たりの平均回数を見ますと、当初始まった10月23日から11月

分につきましては、4台で運行しておりました。これがですね、4台で11月が68回、回ですね。12月が77回、1月につきましては76回、2月がですね、62回、3月が82回、4月においては、令和6年ですね、6年度、89回、5月が80回、そしてですね、3台に6月から運行をですね、変更し、6月が71回、7月が77回というところでございます。3か月平均を見ますとですね、1台当たりが当初18.7回、そしてその後ですね、4月から7月ぐらいの状況を見て3台の状況を踏まえると、現在1台当たり25.6人というか、回が運行状況になっております。そうするとですね、令和6年度7月末時点においては、1台当たりが約26回というような状況ですね、になっております。

これ、当初目的…目標で置きました1台当たりが60回というようなこともありますので、非常に状況が厳しいというところで感じているところでございます。なので、こういう部分で1か月当たりの平均の状況を報告させていただきます。

それとですね、6年度につきましては、今、松田町と大井町で、大井町は31区間があります。そこで今、運行しているんですけど、11月から拡大をするということで進めているのが開成町さんをエリアで、これは開成町さんの9か所を今、予定をしております。ただ、これは地域公共交通会議で議論をし、そして開成町の承認を得て進めることとなりますので、それを踏まえて11月を予定しているところでございます。主にですね、開成町からの要望ではなく、松田町の方が開成町のエリアに行ってみたいというようなところの要望を踏まえてやっている事業ということで、御理解をお願いいたします。以上です。

8 番 田 代 ありがとうございます。今、回って何か、何回か言いましたけど、延べ人数ということでよろしいですね。延べ何人ということで考えておいて。ありがとうございます。

それで、今度は料金の確認です。料金が11月からエリア内、例えばこれは松田エリア内、今の話、大井町エリア内、開成町エリア内と、そういう解釈でよろしいと思うんですけども、この料金が1つのエリア内だったら200円プラスになると。ですから、料金が500円になると、改定ということですね。それで、

あとは大井町または開成町とのエリアをまたぐ場合は、プラス300円、合計800円と、これが定価格ですよね。定額というか、定められた額ということで解釈していただいてよろしいのかと思います。

あともう一方で高齢者。高齢者のほうは、今回の予算方針でも高齢者の方、75歳以上の方と妊婦の方、または出産後1年以内の方は、100円で乗れるような予算の方針を読んだ記憶があるんですけど、記載されていたんですけど、これについて今のちょっと話だと、200円というふうにも取れるんですけども、この割引料金は75歳以上または妊婦、出産1年以内の方はお幾らなんですか。それ、確認です。お願いします。

福 祉 課 長 田代議員の質問にお答えいたします。チケットのほうのですね、金額なんですけれども、先ほど町長の答弁のほうでもございましたとおり、200円ということになります。ですので、実際乗られる場合には、先ほど業者の、法人のほうからも100円ということになりますので、基本的には200円で乗れるということになります。以上となります。

8 番 田 代 100円の助成をさせていただいて、個人負担が200円と、そういうことでよろしいですね。はい、分かりました。

基本的には、乗合バスが減便される中で、一つの方策で、実証実験と、非常によろしいと思います。先ほどの説明で、平成7年までは国の助成が受けられるわけですよね。それで…あ、ごめんなさい。令和です。令和7年度までは実証実験で助成が受けられると。8年からは自走式、要するに利用料金を主な財源として行っていくということなんですけれども、これ、エリアを広げたりして努力されているのは非常に分かります。今の料金形態、これがベースになって、8年度で行った場合に、自走式できるのかね。その辺についての見込みはいかがなんでしょうか。

それとあと、年間何人ぐらい、何人ぐらいで自走できると。今、1年たっていないから参考数値なんですけれども、その辺の将来性についてお尋ねします。

参事兼政策推進課長 まず利用料金がですね、今、設定しているというところがございましたので、またがるものを含めて800円、総計800円にした場合については、令和8年度に

ついては一応台数を4台で今、計画はしております。車4台。そうしますと、1日当たりですね、1台当たり、最大75人は、この金額であれば乗らないと収支がゼロにならないというところがございます。これをですね、ずっと800円でいくのかということございます。今後ですね、料金の見直し、運行形態の見直しを定期的にしますので、実証運行…（私語あり）今の料金で改正した場合ということですよ。

議 長 手を挙げてお願いします。

参事兼政策推進課長 じゃあ、基本的な料金につきましては、本格運行に向けては400円というベースを置いております。町としては。料金設定。そうしますと、4台運行ですと150回ということですね、150回は、1台当たり150回を乗らないと収支がゼロにならないということで報告をさせていただきます。

8 番 田 代 先ほどこの11月で800円に改定というような回答があったと思います。今の回答だと、400円というお話なんですけども、この辺よく理解できませんでした。説明をお願いいたします。

参事兼政策推進課長 今回の料金改定で800円でございますが、本格運行に向けては料金の見直しをしていくという条件の中で、400円を目指すと。目指すというところで収支の計算をしておりますので、そうした場合に1台当たり、4台で150回を見込んでおります。以上です。

8 番 田 代 理解しました。取りあえず今回800円にして、様子を見ながら最終的に400円を今現在では考えていると、こういうことでよろしいわけですね。ありがとうございます。

では、次に、高齢者の福祉タクシーの助成券、このことについて質問させていただきます。今までコロナの関係で国から財源が来たということで行っていて、5年度からは町単で行っていたんですけども、デマンドの関係でそちらにある程度移して利用を促進したいということで、タクシー券が廃止になったと、このように理解させていただいています。

まず、基礎的な数字として、令和4年度、これは1年間行われたと思うんですけども、このときに延べ何人の方が利用して、タクシー券を何枚ぐらい、初

乗りのタクシー券だと思うんですけども、1人当たり何枚ぐらい発行されたのか。あと、5年度、これが9か月で終了したと思うんですけども、そのときの人数と発行枚数、この2か年度について具体的な数字をお願いいたします。

福祉課長 御質問のほうにお答えいたします。まず令和4年度につきましては、高齢者、妊婦者、合計という順番に報告したいと思います。人数のほうにつきましては、高齢者が620人、妊婦者が7名で、計が627名です。交付枚数につきましては、高齢者が3万8,466枚、妊婦者が372枚、合計として3万8,838枚を配付しております。このとき1枚当たりですね、72枚、1年分で配付しております。

続きまして、令和5年度でございます。同じように高齢者、妊婦者、合計という順に御案内したいと思います。まず人数につきましては、高齢者が614人、妊婦者が5人、合計で619人です。交付につきましては、高齢者が3万402枚、妊婦者が234枚、合計3万636枚を配付している状況でございます。

8番田代 それでは、今度6年度に移りまして、タクシー券が廃止されました。そのときに75歳以上、また妊婦の方、産後1年以内の方、この方がデマンドバスを利用された人数、これについてお願いします。これが分かる範囲の月数でいいです。そちらの福祉のほうで集計している月、何人ぐらいかということをお願いいたします。

福祉課長 それでは、御質問にお答えいたします。福祉課のほうで結果のほう、データのほうを捉えておりますのが、7月末までの数ということで、お願いしたいと思います。人数につきましてはですけども、高齢者75歳以上の方につきましては128人、妊婦者につきましては4人、合計132名の方に出しております。

そこで、枚数のほうなんですけれども、発行枚数ですね、こちらにつきましては高齢者の方にですね、1万4,672枚、妊婦者の方には368枚、合計でですね、1万5,040枚を配付しております。というのが、月8枚ということですので、年間96枚を配付しているものとなります。以上です。

8番田代 今、具体的な回答を頂いたんですけど、それをもとに確認させていただきます。先ほどの町長のほうの回答では、11月から新たにタクシー利用を200円助成ということなんですけれども、令和5年の12月まで、初乗り料金を助成して



いたんですけれども、その比較はどうなんでしょうかね。同じように200円ぐらい助成するのか、それよりも、前よりも少ないのか多いのかね。その辺についてお願いします。

福祉課長 タクシー券のほうの助成の枚数ですけれども、こちらについてはA I オンデマンドバスの助成券と同じ枚数を発行する予定でございます。ですので、月8枚の11月からということになりますので、5か月分ということで発行する予定でございます。以上です。

8番田代 ちょっと分かりにくいので、具体的に説明をお願いしたいと思うんですけれども、11月から一般の方は500円になりますよね。それで、エリアをまたぐ方は800円。それに対してタクシー助成券でこの500円が幾ら減るのか。1回乗車当たりの高齢者の負担が幾らになって、幾ら助成してくれるのか。これについてお願いいたします。

福祉課長 質問にお答えいたします。チケットのほうがですね、1枚200円ということになりますので、管内であれば、区域内であれば300円、外に出るのであればプラス300円ということになりますので、合計600円ということになります。以上です。

町長 同じ話になっていたもので、まとめて話をします。エリア内500円なんですけれども、まずこれからずっとやっていただく分に関しては、まず町が200円負担します。今まで100円だったのが200円に上げます。プラス、事業者さんが100円やってくれるので、対象者は200円で乗れるようになります。200円。今度対象者じゃない人、対象じゃない人、一般の人ですね。は、100円は助成してくれるので、その一般の我々対象じゃない人は400円で乗る形になります。今度、800円という話になると、それにまたぐ人はプラス300円を負担してもらう形になりますので、対象者は500円で例えばヤオマサに行くなり開成町のほうに行くなりという形になって、一般の我々は700円払う。ただ、100円は一律業者さんのほうで御負担をしていただくと、非常にきついとは言ってましたけど、そんな格好に…の格好で進めさせていただくと。プラス申し上げますと、対象者になっている方々には月に8枚配っているという話がありましたけれども、そ

の8枚を使って、じゃあ今日はタクシーで行こうかな、今日はオンデマンドで行こうかなというふうに、8枚をそういうふうに使っていただけてもらえると。今までは初乗り料金が満額だったのが、200円だけは町が負担をしてやっていくという形になるので、今回御提案頂いた折衷案みたいなところからスタートするんですけども、そういったことなんかを見ながら、ニーズの確認をしながら今後やっていきたいというふうな回答をさせてもらえればと。以上でございます。

8 番 田 代 時間も少なくなってきましたので、そろそろまとめの部分ということで、基礎数値をもとに発言させていただきたいと思います。

私が今回一般質問でこの質問をすることになった経緯は、私は年に1回講演会を開催して、議会報告会と意見交換会、これを行っています。その意見交換会で、高齢者の御婦人の方で、いろいろ高齢者と交流がある方から、冒頭の一般質問でオンデマンドバスの苦情に関する内容を、その方から受けました。それで、あとはどうしてタクシー助成券なくなっちゃったの、何とかならないのと、そういう要望でした。あと、ほかにも多くのね、年寄りの方と話すことあるんですけども、ぜひタクシー券の助成券を利用できるようにしてほしいと、そういう声があって今回質問させていただきました。

私自身はオンデマンドバスも必要だと思います。タクシー助成券もそれをフォローするもので必要かなと。あとは当然路線バス。ですから、町民の方にとって3つの選択肢があると、非常に足の要するに乗用車を運転されない方、できない方は助かるのではないかと感じています。高齢者の方のうち、元気な方、こういった方は自分でマイカーを運転したりだとか、オンデマンドバスの利用、そういうのが多いと思います。あとは2世帯住宅に住んでいる方とか、後継者が敷地内に同居して、別棟を建てて生活している方、そういった方はそれなりの移動手段で生活を確保されていると思います。今回、高齢者の方、2人暮らしの方、または独居老人の方、または独居老人で非常に足腰の悪い方とか、持病、病気をお持ちの方、こういった方に関しては、オンデマンドバスは大変利用しづらいのかなと。機能的な…利用しづらいと、そのように感じています。

特にこれは偶発的なことなんですけども、9月1日、台風10号の影響で生涯学習センター電気室に雨水が結構流れ込んで、センターの電気の、センター全体を供給する電気の容量を落としたので、電話回線の使用ができなくなってしまったと。予約が不能になってしまった。アプリとかLINEで対応してということで、高齢者は意外に電話で予約してますよね。そういったときに、やはり通院、買物、非常に支障を来すのかなと。そのようなことから、このタクシー助成券ですか、これをぜひ復活していただきたいということで質問させていただきました。

それで、今回の回答で、11月からタクシーの利用券について200円補助していただくと。先ほどの町長の確認の回答で、事業者が100円見ていただくので、高齢者は200円で利用できるという解釈でよろしいのかなと思います。100円上がったんですけど…負担はあるんですけども、それはそれで選択肢が非常にできてよろしいのかなと。最後に結びの部分として、この補正予算、今後、今回の補正予算では計上されてないですよ。多分11月からだと、12月の定例会では間に合わないの、10月までの臨時会で予算措置されるという解釈でよろしいのかどうか。これを確認です。

町長 私も確認を改めて。今、AIデマンドバスについては200円ですね。タクシーチケットの分は200円サービスなので、初乗りでもし乗っていて、初乗りが今、540円ぐらいですかね。でいくと200円を免除してくれるので、340円が御自身の負担ということをまず前提に。

その200円の額を上げる分については、当初予算を組んでいたとき、当初予算を組んでいましたけども、当初予算で使い切れてないような状態ですので、補正予算を組むことなく、今の予算の範囲の中で200円まで上げて、3月までいけるだろうというふうに踏んでいます。ただし、田代議員がおられるように、いやいやいや、ちょっとタクシーも使えるんだったら、そっちがいいなって、ばんばんばんばん使い始めたときには、ひょっとしたら1月以降とかの臨時議会でお願ひするようなことになる可能性だってあるということで、今のところ12月までの云々かんぬんは臨時議会とかそういった追加で補正する予定は今の

ところございません。以上です。

8 番 田 代 よく理解できました。最後に町長の回答の中で、これが一番のポイントなんですけども、令和7年度の予算、コロナ禍同様に反映できるかは現時点では申し上げられません。11月からの利用状況を鑑み、判断したいと考えておりますということなんですけども、先ほどから私が何回もお話ししているのが、独居老人で体の弱い方、または夫婦2人だけの世帯で車も運転できない方、そういった弱者に関しては、ぜひともこの4月以降、予算計上についてお願いしたいということで、町長のお考えを再度お願いしたいと思います。

町 長 コロナのときの予算を使ってやっていたのは、補助金があったので、町の負担ゼロでよかったわけです。そのときは、まさにおっしゃるように、そういった方々をしっかりと守っていかなきゃいけないというようなことで、ドア・ツー・ドアで行けるタクシーの事業者さんをお願いしたという経緯がありました。当然、そのときはデマンドバスありませんでしたし。ただ、今後のことを考えてデマンドがスタートするわけなんですけども、これからやっていく中で、タクシーのニーズがあった場合には、この手法で全額当初のように初乗り料金を全額ゼロというふうな財政負担ができるかということ、なかなか保証ができないということがあるので、この仕組み、この仕組みの中でこの200円が補助金が例えば250円になったりとか、300円になったりだとか、それはニーズとその辺のバランスをとりながら、町として考えていくということは、一つ方法としてあるのかなというふうに思っていますので、今後知り合いの方々に言ったら、タクシーも使えるようになったよと。ただ、ちょっと負担が前みたいにならないけどねという格好でお伝えいただければと思います。以上でございます。

8 番 田 代 時間も1分になりましたので、最後発言させていただきます。今お話ししたように、コロナの頃はもう全額、初乗り料金全額、さっきたしか540円とかお話あったんですけど、その時代とこれから町単、町単独財源でやっていく時代の差は十分理解しております。そこまではできなくても、やはり今、200円の負担ですか、そういったやはりタクシーを使うきっかけ、選択肢を高齢者弱者に守るために、ぜひ実行していただきたいということで、令和7年度の予算、

よろしく申し上げます。これは私の強い要望でございます。終わります。

議

長 以上で第6号、田代実君の一般質問を終わりにします。